

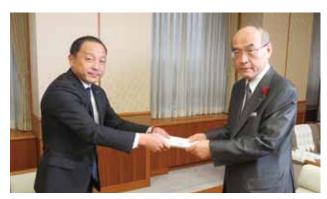
575 号 2015年12月25日

石川県労働者福祉協議会 発行責任者 西田 満明 上野 貞彦

編集人

〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号 電話 (076) 231-1737

> FAX (076) 231-1731 http://www.ishikawa-rofukukyo.jp info@ishikawa-rofukukyo.jp 毎月1回 25日発行



谷本石川県知事へ



山野金沢市長へ

石川労福協は、自治体要請の訪問先として残 る石川県と金沢市をそれぞれ訪ねて来年度予算 編成における労働者や県民市民の生活向上に対 する政策制度等にかかる要請を行った。

11月30日(月)は、谷本正憲石川県知事を訪 ね若者を苦しめる奨学金問題の改善について、 県独自の奨学金制度も含め"負担軽減に向けた 働きかけ"や、生活困窮者自立支援法施行初年 度としてモデル事業の実施経験を踏まえた"体 制の充実と対象者の早期発見"、介護保険制度 の市町への移行初年度にあたり"利用者の意向 や主体性を尊重し損なうことのない措置"を講 じることに加え"労働者に対する労働の質の向 上"、子供の貧困対策などについて要請した。

また、12月1日(火)には山野之義金沢市長 を訪ね、谷本知事への要請内容に加え、金沢勤 労者福祉サービスセンターに対する他市町の補 助金等の要請について引き続き協力していくこ とを添えて要請し、今年度の要請行動を終えた。

#### 主な要請事項

奨学金制度の整備充実と、日本学生支援機構の貸与型奨学金の無利子化や延滞金の廃止 などの制度改善と給付型奨学金制度創設・拡充について

- 1. 生活困窮者自立支援制度における就労支援の促進、相談・就労支援員の人材育成、就労準備支援事 業などにおける地域雇用・就労創設などの推進。
- 2. 子供の貧困率の悪化による支援策の拡充など。
- 3. 高齢低所得単身女性への支援施策の検討・実施。
- 4. 自殺対策に向けた体制の整備充実、メンタルヘルス問題の課題解消に向けた啓発・教育活動。
- 5. 介護保険制度改正後においても利用者のサービスの利用が抑制されないよう、また、施設における 労働環境の改善への支援。
- 6. 中小企業労働者の福利厚生の格差是正について、利用施設はもとより補助金提供自治体への増額など。

#### 第7回理事会



石川労福 協第7回 理事会が、 12月16日 (水)に石川 自治労働文 化会館にお

いて開催された。

8月から準備を進めて取り組んできた2016 (平成28)年度の県内各自治体に対する政策制度などに関する要請活動が12月1日の金沢市長要請を最後に終了したことが報告されたほか、福祉なんでも相談窓口、ジョブいしかわ、子育て支援ネットの取り組み状況などが報告された。

協議事項では、理事1名の退任に伴う理事代理の選任について提案され、湊口洋伸氏の理事代理就任を承認した。また、来年度活動方針(案)が提案され、来年1月末までの意見等の集約を経て、予算案とともに次回理事会において成案として協議決定する予定。

このほか、来年1月5日(火)に連合石川と合同で開催する「2016新春の集い」、2月16日(火)に大学生の二人に一人が利用する奨学金にかかる問題の第一人者である大内裕和中京大学国際教養学部教授を講師に招き石川労福協第39回研究集会を開催することを確認し、来春に向けた取り組みを決定した。

# 福祉なんでも相談窓口アドバイザー会議



石川労福協は、12 月4日(金)フレンド パーク石川において、 第10回福祉なんでも 相談窓口アドバイザー 会議を開催した。

この会議は、石川県職業能力開発プラザ、いしかわ子育で支援財団、石川県消費生活支援センター、喜成司法書士事務所、社会法律センター、連合石川、北陸労金、全労済など10団体で相談に対応される16名で構成している。会議は、労福協「福祉なんでも相談窓口」活動における状況報告、各団体との情報の共有や交換などの場とすることで、相談活動充実につなげようとするもので関係者14名が参集し開催された。

会議では、各アドバイザー等から、日頃の相 談状況などの取り組みなどが報告された。

なかでも、「3月開業した北陸新幹線効果は、 事業者にとって有意義なものであり、また、求 人も増え働く意欲のある者にとっては有効だが、 他方で拘束時間が長くなるなど現場で働く人た ちは疲弊しているようだ。また、架空請求、健 康食品送りつけなど、その手口は実に巧妙になっ てきている。|などと最近の状況が報告された。

今後とも連携を密にして、相談活動を展開することとして会議を終えた。

県LSC 事務局次長 今西十曜治

#### これからの行事予定

#### (12月25日現在)

(12 7) 20 114	/U 111/		
開催日	曜日	行 事	会 場
12月28日	月	フレンドパーク互助会総会	フレンドパーク石川
1月 5日	火	連合石川・石川労福協合同「2016 新春の集い」	ANACP ホテル金沢
15日	金	連合かなざわ・金沢 LSC 合同「2016 年 Newyear 旗開き」	労済会館
16日	土	石川勤労者互助会 映画鑑賞会	ユナイテッドシネマ金沢
25 日	月	中部労福協 第4回幹事会(~26日)	大阪市
29 日	金	第 16 回 LSC 事務担当者研修会	フレンドパーク石川
2月16日	火	石川労福協 第 39 回研究集会	<i>"</i>
24 日	水	中部労福協 第 43 回定期総会(~ 25 日)	姫路市
26 日	金	石川労福協 第8回理事会	フレンドパーク石川
3月 8日	火	中部ブロック会館協議会 第3回幹事会 (~9日)	京都市
10 日	木	中央労福協 地方労福協会議(~ 11 日)	東京都
3月17日	//	全国会館協 第2回幹事会 (~18日)	金沢市

# 中部会館協議会第2回幹事会

労

福

協

中部会館協議会(中部ブロック労働者福祉会館協議会)は、12月8日(火)三重県松阪市の松阪シティホテルにおいて、本年度第2回幹事会を役員9名が出席して開催した。

幹事会では、全国会館協議会幹事会での報告 や検討を要する課題について検討・協議したほ か、各会員の事業状況報告を通じて情報交換や 意見交換を行い連携を深めた。

会員会館では、建築後数十年を経過した会館

もあり、設備の老朽化によるたび重なる修繕に 悩まされている状況や新たな設備への更新・新 設に取り組むなど置かれている状況は様々だが、 より良いサービスの提供で利用者がより満足で きるようにするために日夜努力している状況が 伺えた。今年は年末の総選挙もないことで例年 並みの売り上げを確保できそうだと安堵顔を見 せる会員もおり、直に世情が運営面に反映され る厳しさが伺えた。

労福協 事務局長 上野貞彦

# 、食とみどり、水を守る全国集会 in 金沢



11月27日(金)から28日(土)の日程で第47回 食とみどり、水を守る全国集会in金沢が金沢市 鞍月の石川県地場産業振興センターをメイン会場 に開かれた。折しも、前日からの爆弾低気圧で大 荒れ、一面真っ白に雪化粧した金沢に日本全国か ら約750名が参加した。

初日は、開会セレモニーの後、「ローカルに未来あり〜真の地域再生をめざして」をテーマに全体シンポジウムが行われ、ジャーナリストの大江正章氏をコーディネーターに、新潟、富山、石川、福井の各地元で地域再生に活躍する方をパネラーに迎えて、それぞれの取り組みについて意見交換などを行った。石川県からは、珠洲市で茶道用木炭の製造に関わりつつ里山を守り地域興しに活躍する大野長一郎氏(大野製炭工場代表)がパネラーとなった。

その後、全体交流会を金沢東急ホテルで開催 し連帯の結束を深めた。

2日目は、同じ地場産業振興センターにおいて、 加賀野菜の魅力を語るなど五つの分科会が開か れ、食料を取り巻く環境、里山・里海の重要性に 加え、食の安心・安全などについて意見交換する 絶好の機会となった。

また、同日にはフィールドワークが能登方面と 富山県南砺市方面に分かれて実施された。

世界農業遺産となった能登方面では、本吉淨 与石川県議会議員が移動中のバスで千里浜の海 岸浸食について説明した。参加者は、大荒れで 通行止めの千里浜なぎさドライブウェイを海岸線 から目視し、浸食の現状を目の当たりにした。次 に輪島の白米千枚田をポケットパークから一望し ながら、連合能登地協前議長で輪島市役所の延 命公丈氏から千枚田の維持、観光資源化などの 取り組みについて説明を受けた。更に、珠洲市の 塩田村において揚げ浜塩田での塩作りについても 知識を深め、地域で運営する木の浦ビレッジにて 地産地消の昼食を味わい、金沢星稜大学特任教 授であり珠洲市日置地区で持続可能な地域づくり に取り組む NPO 法人日置らい事務局長の澤信俊 氏が、消滅自治体といわれる珠洲市において取り 組んできた地域興しについて講義し、真の地域創 成を地域住民が行い持続可能な地域を興してい る様を実感したフィールドワークとし、石川県を 満喫した全国集会となった。



# 勤文協

# 『第65回勤美展』開催



石川県勤労者文化協会は、12月9日(水) 金沢21世紀美術館市民ギャラリーにおいて 第65回石川県勤労者美術展(石川県、勤文協 共同開催)を開催した。

動美展は、主催者、来賓等によるテープカットで開場し、日本画、洋画、書道、写真、手工芸の各部門から出品された計285点の全作品が一堂に展示・公開された。

また、会場には、池坊、草月の各流派から 生花が生けられ会場に一層の彩りを添えた。

13日(日)には表彰式・合評が行われ、同日に閉幕した。

なお、厚生労働大臣賞、石川県知事賞、石川県議会議長賞を受賞した作品計 15 点は、12 月 19 日(土)から 12 月 23 日(水・祝)まで 県庁 19 階ロビーにおいて特別展示された。



#### 日本画



厚生労働大臣賞『Pasión (情熱)』 吉田 陽子〈金沢市〉



石川県知事賞 『つなぐ』 清水 光男〈金沢市〉



勤文協会長賞 『天恵有実』 紅谷 多恵子〈金沢市〉



金沢市長賞 『竹間に燃ゆる』 中嶋 美和子〈津幡町〉

### 洋画



厚生労働大臣賞 『お父さんのカメラ』 林 和歌子〈小松市〉



石川県知事賞 『鶏』 久保 幾代〈金沢市〉



勤文協会長賞 『花守』 鶴貝 桃子〈小松市〉



金沢市長賞 『大切な時』 平田 道子〈金沢市〉

#### 労 福 協

# 書道



厚生労働大臣賞 『無題』 中島 幸雄〈かほく市〉



石川県知事賞 『孔子の年齢を表すことば』 髙井 治〈金沢市〉



勤文協会長賞 『高村光太郎の歌』 村上 ルミ子〈金沢市〉



金沢市長賞 『鵬斎詩江月一節』 橋 栄子〈津幡町〉

### 写 真



厚生労働大臣賞 『空も、また空なり』 小出 勇〈志賀町〉



石川県知事賞 『温くもり』 下野 久雄〈志賀町〉



勤文協会長賞 『霧景』 亀田 長之〈白山市〉



金沢市長賞 『黄葉霧中』 鍛治 敏弘〈金沢市〉

# 手 工 芸



厚生労働大臣賞 『陶華』 野川 志麻子〈金沢市〉



石川県知事賞 『七海の祝い綱』 岡部 輝代〈金沢市〉



勤文協会長賞 『木画』 岡田 金昭〈金沢市〉



金沢市長賞 『金胎五友蒔絵皿』 寺井 克幸〈金沢市〉

### 奨 励 賞



日本画 『天上華』 橋本 京子〈金沢市〉



洋画 『賑わう立山』 田中 宏見〈金沢市〉



書道 『響』 角 秀嶺〈金沢市〉



写真 『早春』 玉岡 さゆき〈金沢市〉

# 中央労福協 第62回定期総会



11月27日(金)東京日暮里のホテルラング ウッドにおいて、地方労福協や労働組合、事業 団体の代議員、労福協役員など165名が出席し て中央労福協第62回定期総会が開催された。

中央労福協の総会は2年に一度の開催であり、2年間の活動総括と向こう2年間の活動方針を議論する場となっており、石川労福協から 浅野正専務理事が出席した。

古賀伸明会長は、「今、日本社会の持続可能性が問われている。非正規労働者が4割に達し、

年収200万円以下の層が1,100万人を超える状態となっている。とりわけ、次代を担う若者が以前とは異なる厳しい状態に置かれている。親世代の所得環境の悪化や大学授業料の上昇で、今や大学生の2人に1人が奨学金を利用し、社会人としてのスタートから数百万円の借金を背負っている。これは根が深い社会の構造的な問



総会では、二ヵ年の活動報告、昨年度の決算報告が承認され、2016年度~2017年度の活動方針、2016年度予算が承認された。任期満了に伴う役員改選では、会長に古賀氏から神津里季生連合会長が、事務局長に大塚敏夫氏から花井圭子連合参与がそれぞれ就任して新たな体制となり、新2ヵ年のスタートとなった。

石川労福協 専務理事 浅野 正

# 餅つきボランティア



さわやか U (NPO いしかわ介護ボランティアセンター)は、12月12日(土)金沢市諸江町の「花小町もろえ」において、年末餅つきボランティアを約30名のボランティアで開催した。

当日は天候に恵まれ、午前9時過ぎから施設のテラスで準備を進め、9時30頃には、蒸しあがったもち米を臼と杵を使って搗きはじめた。施設入

居者が様子を見に傍まで来て、ヨイショヨイショ の声を掛けたことで、ボランティアも力をもらっ て8日を暫くの間に搗きあげ、搗きたての餅は、 鏡餅とした他、大根おろしや黄な粉、餡子を付 けて美味しく召し上がってもらった。

昔ながらの年末の恒例行事、入居者は元気な頃を思い出し、餅を頬張ったかも…。



労

# 河北 LSC

#### 第2回チャリティゴルフ大会

河北地域 LSC は、10月23日(金)に第2回 チャリティゴルフ大会を金沢カントリー倶楽部 で開催し、絶好のゴルフ日和の中、18名の参 加者は心行くまでゴルフを楽しんだ。

上位入賞者は次のとおりです。

		グロス	ネット
優勝	綿 征一	95	71.0
準優勝	金田 進	96	71.40
三 位	千代久代	96	73.20
四 位	山岡正和	92	74.00
五 位	酒井孝雄	82	74.80 (BG 賞)

また、参加者からのチャリティ募金8,000円を後日、内灘町社会福祉センターに寄付した。

#### 秋季史跡巡り



河北地域ライフ・サポートセンターは、11月7日(土)に秋季史跡めぐりを、参加者27名で開催した。

今回は、加賀市の実性院、深田久弥、菅生石 部神社、木場潟(本年度植樹祭会場)、木場潟道 の駅を訪ねた。

実性院は「萩の寺」として親しまれており、大 聖寺藩歴代藩主のお墓と位牌は重要文化財級の ものである。

深田久弥は石川県江沼郡大聖寺町で生まれ、「山は内なる精神の世俗から解き放つ場であった。精神の開放の場として山々を歩いた」とのこと。戦後は小説より山の文書を多く書き、読売文学賞を受けた「日本百名山」が特に有名。山の

文化館には、登山に使った道具や写真、原稿が 展示されており、深田久弥の歩きに歩いた人生 が垣間見られた。

その後、菅生石部神社で御祓いを済ませ、今年の植樹祭が開催された木場潟を訪ねて、史跡めぐりとした。

ガイドはお馴染みの桑江幹事にお願いし、帰りのバスの中では、桑江はるみさんの優しい声での昔話を聞きながら帰路に着いた。

#### 生活保障設計セミナー



河 北 地 域 LSC は、11 月 28 日(土) 津幡町サンラ イフ津幡にお いて生活保障 設計セミナー

を開催した。

今年は社会保険労務士法人ウィズから講師を 迎え「年金を中心とした定年退職後の生活設計」 の講演をいただいた。また、引き続いてLSCの 幹事でもある全労済石川の久保氏から「安心ある 住宅保障について」をクイズ形式で楽しく・分かり易く説明していただいた。

セミナー開催を津幡町広報に掲載して周知したほか、周辺企業への参加案内を行ったが、当日の天候や、地元企業が同種セミナーを開催したことが災いしたのか、参加者は7名と残念な結果となった。

河北地域 LSC 吉川武久



## 加賀 LSC

#### 『錦城学園祭』ボランティア



11月7日(土)、 毎年の恒例行事と なっている知的障 害者厚生施設であ る錦城学園の学園 祭が、今年もたく

さんの利用者と保護者や一般の方の参加のも と、同学園で開催された。

加賀地域 LSC は、バルーンアートとポップ コーンとヨーヨー釣りのコーナーを設けて学園 祭の盛り上げに一役買った。

当日は、午前 11 時九田園長の開会挨拶の後、 錦城学園職員による錦城太鼓の演奏、加賀出身 アイドルのダンスステージなど、活気のある学 園祭らしい雰囲気で盛り上がった。

バルーンのぶんちゃんが作る風船アートはとても好評で、制作過程を食い入るように見ている人や、バルーンをもらってとても感激している人、自分でも作ろうと風船を手にする人など様々であった。また、ヨーヨー釣りは男女、子供を問わず好評で、自分の欲しい色を何度も狙ってみたり、釣れるとガッツポーズをする人など楽しそうに興じていた。ポップコーンも好評で、引率者の方に「ちょっと食べ過ぎ」と言われるほどの人気となっていた。

そして、お楽しみ抽選会終了後、閉会式が行われ、今年も無事に学園祭への協力を終えることが出来た。

今後もこのような活動を通じて地域貢献と活動の輪を広げながら、LSCとしての活動をアピールしていきたいと思います。

加賀地域LSC事務局長 永井達也

# 勤 体 協

#### 第14回輪島市長杯勤労者バスケットボールオープン大会最終日

11月29日·輪島市一本松総合運動公園体育館

◇一般

優勝 TROTTERS(輪島市)、2位 カメレオン☆(七尾市)

3位 BULLDOG(七尾市)、4位 ルーザーズ(金沢市)

5位 TAKAMAZ(金沢市)、6位 est montagr(野々市市)

7位 noizeです。(野々市市)、8位 松本クラブ(金沢市)

9位 スボルメ(輪島市)

最優秀選手 辻田俊輔(TROTTERS)

優秀選手 西鍛冶顕(TROTTERS)、河上皓輝(カメレオン☆) 中西弘栄(BULLDOG)、中嶋智司(ルーザーズ) ◇混合

優勝 Still(金沢市)、2位 アリムス'S(金沢市)

3位 most(宝達志水町)、4位 SMOKERS(金沢市)

5位 peco and…(金沢市)、6位 田鶴浜クラブ(七尾市)

7位 FRESH(能美市)、8位 RUN 3 (白山市)

9位 reYouth(金沢市)、10位 NSI(能美市)

最優秀選手 東出奈美子(Still)

優秀選手 吉川ちさと(Still)、南りな(アリムス'S) 吉田麻美(most)、夏井理恵(SMOKERS)

